

テーマ：Weekly Market Report（2009年6月8日～）
～織り込めていない需要サイドの回復力～

発表日：2009年6月8日（月）

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 嵐峰 義清（03-5221-4521）

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
6月8日(月)	日本	国際収支（4月）・経常収支		+8,500	+4,266～+10,271	+14,856	億円・未季調
		景気ウォッチャー（5月）・現状判断D I		34.0	32.0～37.0	34.2	
		M2（5月）		+2.6%	+2.4～+2.8%	+2.6%	前年比
	欧州	独製造業受注（4月）	★	0.0%	▲2.0～+3.5%	+3.3%	前月比
6月9日(火)	米国	タルーロFRB理事講演	★				
	日本	景気動向指数（4月）・先行C I	★	77.2	76.0～77.4	76.3	
		一致C I		86.0	85.8～86.3	85.1	
	欧州	30年債入札	★				
6月10日(水)	米国	独鉱工業生産（4月）	★	+0.3%	▲1.5～+3.5%	0.0%	前月比
	米国	3年債入札	★				
	日本	機械受注（4月）：除船電・民需	★★★	▲0.7%	▲5.4～+9.9%	▲1.3%	前月比
		企業物価指数（5月）・国内		▲0.3%	▲0.5～+0.2%	▲0.4%	前月比
6月11日(木)	欧州	—					
	米国	貿易収支（4月）	★	▲287	▲300～▲276	▲276	億ドル
		財政収支（5月）	★★★	▲1,750	▲2,380～▲250	▲1,659	億ドル
		ページブック	★★				
		10年債入札	★★★				
		デュークFRB理事講演	★				
		リッチモンド連銀総裁講演	★				
	日本	実質GDP（1～3月期）：2次速報	★	▲14.9%	▲16.6～▲13.8%	▲15.2%	前期比年率
		5年債入札	★				
	欧州	ECB月報	★★★				
	米国	小売売上高（5月）	★★★	+0.3%	▲0.4～+0.9%	▲0.4%	前月比
同除自動車		★★★	+0.2%	▲0.3～+1.5%	▲0.5%	前月比	
企業在庫（4月）		★	▲1.0%	▲1.4～+0.4%	▲1.0%	前月比	
30年債入札		★★★					
ダラス連銀総裁スピーチ		★					
アトランタ連銀総裁スピーチ		★					
6月12日(金)	日本	消費者態度指数（5月）・一般世帯		34.0	30.0～35.0	32.4	
	欧州	欧鉱工業生産（4月）	★	▲0.4%	▲1.7～+1.0%	▲2.0%	前月比
		トリシェECB総裁講演	★★				
	米国	輸入物価（5月）		+1.2%	+0.5～+3.2%	+1.6%	前月比
		ミシガン大学消費者センチメント（6月速報）	★★★	68.6	68.0～71.0	68.7	
6月13日(土)	他	G8（～13日）	★★★				
6月14日(日)		—					

（注）市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく
注目度は筆者

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、上昇。特に、米国では週末に発表された雇用統計で、就業者の減少数が市場予想を大幅に下回ったことから、FRBによる利上げまでが意識される展開となり、長短金利とも急騰した。また、ユーロ圏では、ECB理事会で追加利下げの見送りが市場の事前予想通り決まったが、その後のECB総裁会見などから追加利下げ期待が大幅に後退、米国より一足早く長短金利が上昇する格好となった。

今週は、内外とも債券市場は荒れた展開が予想される。各国国債利回りの変動幅が極めて大きくなっており、市場は材料毎に強い反応を見せてボラティリティの高い状態が暫く続きそう。週後半からは、米国の主要月次指標の発表が始まるほか、週末にはG8も控えており、材料は豊富。特に、米小売売上高やミシガン大消費者センチメントは、今後の景気の拡大テンポを占うのに重要。市場予想を下回るようだと、金利は再び急低下も。また、FRBからは金利の過度の上昇期待を是正するようなコメントが出る可能性もある。

なお、米国では長期債を中心に国債入札が行われるが、前週に金利が急上昇したこともあり、入札環境は大幅に改善している。このため、入札が波乱となって金利が急騰するリスクは小。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、株価は上昇。週初に発表された米ISM製造業景気指数が予想を上回る内容となったことを受けて、景気回復期待が一段と高まる格好となった。一方で、金利が上昇基調を辿ったことから、景気回復の芽を摘むリスクも無視できず、伸び悩む場面も見られた。

今週は、景気回復による株価押し上げ要因と、金利上昇による押し下げ要因との綱引きとなる。ただし、これまで確認されている景気回復のシグナルは専ら循環面によるもので、回復のテンポなどは需要の回復がカギを握る。その点で、今週発表される米小売売上高や消費者センチメントに対する注目度は高い。これらが伸び悩むようだと、株価の一段高は困難。ただし、日本株は円安が更に進むようだと、その分上昇余地が生じることとなる。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルが上昇。週初のISMが市場予想を上回る好内容となったことに加え、週末の雇用統計も予想よりも就業者の減少者数が少なかったことを受けて、ドル高が進んだ。

今週は、ドル高は一服か。先週末のドル高はFRBによる利上げ観測が背景にあるが、さすがにこれは行き過ぎ。需要が牽引するような形で景気回復基調が強まっていくのであれば、比較的早い段階での利上げもあり得るが、現状で想定される今後の米景気回復シナリオは寧ろ逆。FRBは、景気回復の芽を摘まなように、当局者の講演などを通じて行き過ぎた金利上昇期待を修正する動きに出る可能性もある。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、商品市況は概ね上昇。欧米経済指標の改善などを背景に、原油を含めて商品市況は一段高となった。ただし、為替相場ではドルが堅調な展開となったために、金は前週末水準を下回って越週したほか、原油もドル高の分伸び悩んだ。

今週は、米需要サイドの統計が発表されるが、伸び悩むリスクが大きく、商品市況の上昇は一服となる公算が大きい。ただし、ドルとの逆相関が強い金については、ドルが軟調となる分だけ上昇すると見込まれる。

〔債券市場〕

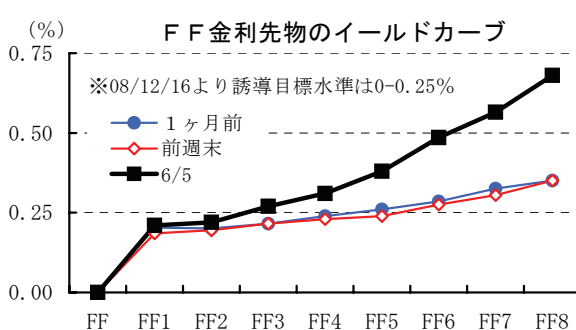
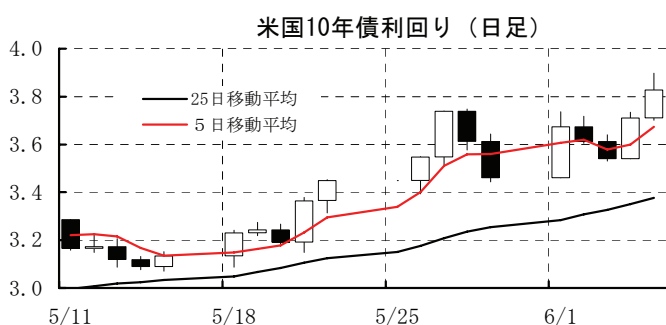
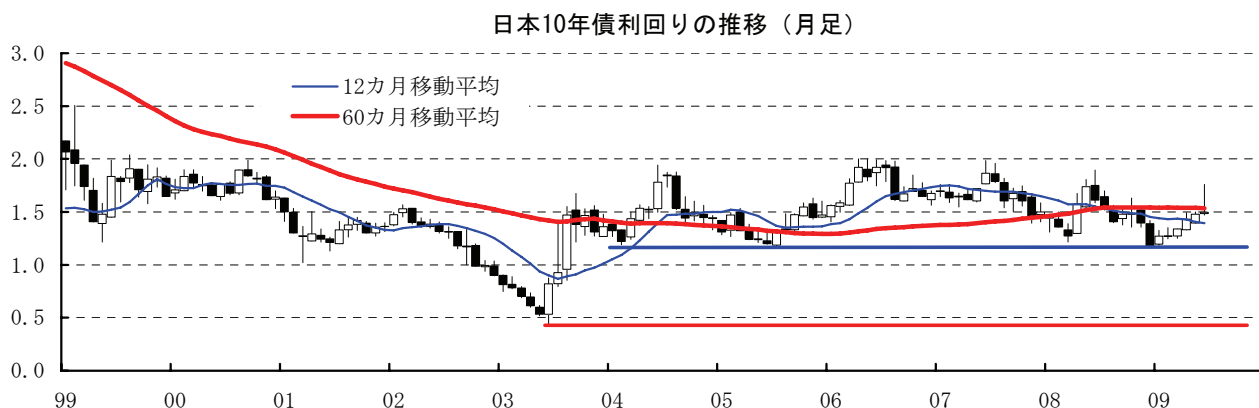
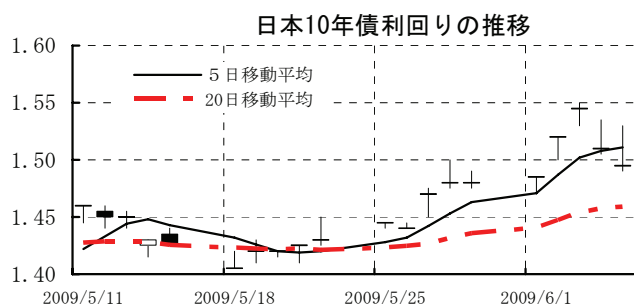
		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
			1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
						6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
2年	日本	0.359	▲48	▲3	+0	▲22	+3	▲0	+2	▲3	▲3	▲2	+0
	米国	1.292	▲120	+33	+38	▲22	+18	+2	▲17	+10	+2	+3	+3
	イギリス	1.324	▲373	+22	+25	▲116	+45	▲6	▲25	▲14	+2	▲1	+2
	ドイツ	1.674	▲295	+31	+26	▲43	▲22	▲22	▲8	+10	+8	+5	+11
	スイス	0.545	▲222	+6	+8	▲62	+4	+2	▲9	▲5	▲1	+2	▲0
	スウェーデン	1.311	▲317	+14	+9	▲70	▲2	▲41	▲4	+6	+13	+10	▲7
	ポーランド	5.516	▲124	▲9	+1	▲49	▲56	+91	▲8	▲8	▲8	▲17	▲15
	カナダ	1.262	▲163	+24	+2	▲61	+32	▲25	▲8	▲9	+25	+5	+9
	メキシコ	5.697	▲223	+15	+5	▲91	▲51	+42	▲105	▲49	+6	▲1	+10
	ニュージーランド*	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	オーストラリア	3.729	▲314	+36	+23	▲45	▲33	+37	+5	+31	+36	+27	▲20
10年	韓国	3.430	▲201	+14	+22	▲165	▲33	+19	+15	▲29	+6	▲3	▲2
	シンガポール	0.400	▲75	+2	▲10	▲2	▲9	▲8	▲4	▲22	+11	+3	+1
	タイ	1.760	▲255	+52	▲3	▲126	▲7	▲21	▲25	▲21	+60	+8	+34
	インド	5.193	▲286	+24	+12	▲175	▲29	+28	+56	▲46	▲3	+2	+6
	日本	1.495	▲25	+10	+2	▲23	+11	+0	+7	+9	+5	+0	+5
	米国	3.828	▲21	+67	+37	▲71	+63	+17	▲35	+46	+34	+32	+1
	イギリス	3.922	▲112	+37	+18	▲75	+68	▲8	▲46	+34	+25	+19	+2
	ドイツ	3.722	▲75	+51	+13	▲31	+35	▲18	▲12	+18	+41	+18	+4
	スイス	2.495	▲77	+31	+8	▲18	+8	+6	▲14	+4	+27	+5	+6
	スウェーデン	3.720	▲62	+38	▲3	▲49	+68	▲29	+19	+25	+51	+16	+8
	ポーランド	6.320	▲16	+11	+2	▲52	+37	+42	+12	▲9	+9	▲2	▲2
長短スプレッド	カナダ	3.440	▲26	+39	+6	▲64	+37	+8	▲35	+32	+28	+16	+13
	メキシコ	8.031	▲22	+47	+7	▲115	▲19	+75	▲75	▲5	+21	+12	+18
	ニュージーランド*	5.938	▲40	+45	+19	▲45	▲31	+18	+78	+4	+44	+32	+2
	オーストラリア	5.588	▲94	+77	+31	▲61	+11	+30	+2	+15	+71	+34	+7
	韓国	5.120	▲62	+26	▲5	▲153	+49	+35	+11	▲48	+48	+7	+9
	シンガポール	2.560	▲104	+43	▲5	▲24	+2	▲2	▲2	+1	+57	+19	+31
	タイ	3.853	▲152	+92	▲23	▲117	+81	+13	▲25	▲43	+117	+4	+51
	インド	6.546	▲164	+29	▲16	▲182	+99	▲24	+99	▲78	+48	+6	+23
	日本	+113.6	+23	+13	+2	▲1	+8	+0	+6	+12	+8	+2	+5
	米国	+253.6	+99	+34	▲1	▲49	+45	+15	▲18	+35	+32	+28	▲2
	イギリス	+259.8	+261	+14	▲7	+41	+23	▲2	▲21	+47	+22	+20	▲0
	ドイツ	+204.8	+220	+20	▲12	+13	+57	+4	▲4	+8	+33	+13	▲7
長短スプレッド	スイス	+195.0	+145	+25	+1	+43	+4	+4	▲5	+9	+29	+3	+6
	スウェーデン	+240.9	+256	+24	▲12	+21	+71	+11	+23	+19	+38	+6	+15
	ポーランド	+80.4	+108	+20	+0	▲3	+93	▲49	+20	▲1	+17	+15	+12
	カナダ	+217.8	+137	+15	+3	▲3	+5	+33	▲27	+41	+3	+10	+4
	メキシコ	+233.4	+201	+31	+2	▲24	+32	+33	+30	+43	+15	+13	+8
	ニュージーランド*	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#####	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	オーストラリア	+185.9	+220	+41	+8	▲16	+44	▲7	▲3	▲16	+35	+7	+28
	韓国	+169.0	+139	+12	▲27	+12	+82	+16	▲4	▲19	+42	+10	+11
	シンガポール	+216.0	▲29	+41	+5	▲22	+11	+6	+2	+23	+46	+16	+30
	タイ	+209.3	+103	+40	▲20	+8	+88	+34	+0	▲21	+57	▲3	+17
	インド	+135.3	+123	+5	▲28	▲7	+128	▲52	+43	▲32	+51	+4	+17

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅（例：4週間＝4週間前の週間変化幅、6カ月前＝6カ月前の月間変化幅）を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい（上昇幅の低い）金利、太斜字は最も上昇幅の大きい（低下幅の低い）金利を示す。



〔株式市場〕

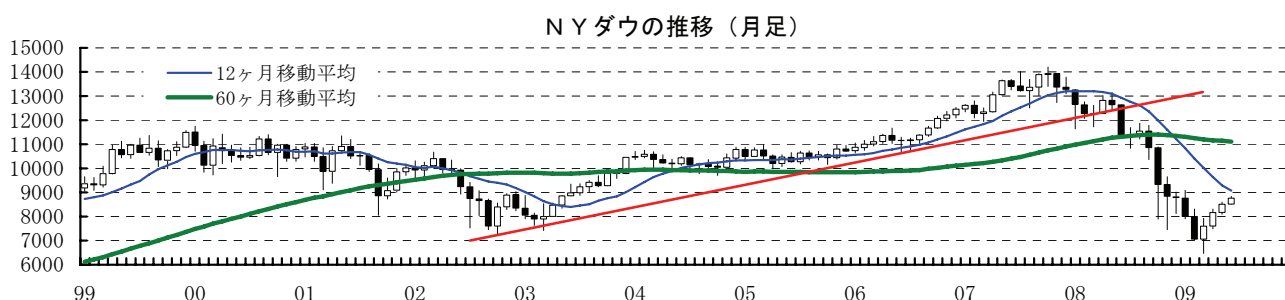
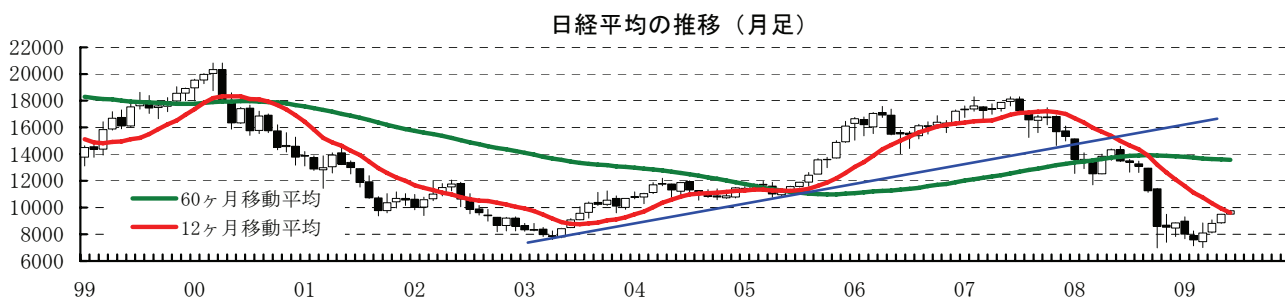
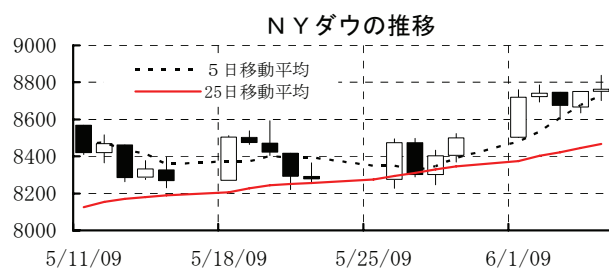
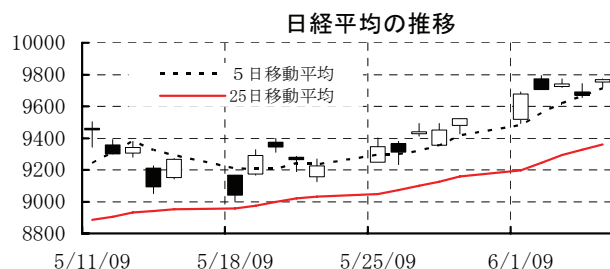
		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
			1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
						6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
日本	日経平均	9768.01	▲31.9	+8.8	+2.6	+4.1	▲9.8	▲5.3	+7.1	+8.9	+7.9	▲0.4	+3.2
	TOPIX	916.56	▲35.7	+8.3	+2.1	+2.9	▲7.6	▲4.7	+2.2	+8.3	+7.2	▲0.7	+2.5
	日経店頭	1128.99	▲26.5	+8.8	+2.5	+0.5	▲1.9	▲5.3	+0.3	+2.3	+5.9	+0.8	+3.2
米国	NYダウ	8763.13	▲30.5	+4.2	+3.1	▲0.6	▲8.8	▲11.7	+7.7	+7.3	+4.1	+0.1	+2.7
	S P 500	940.09	▲33.0	+4.0	+2.3	+0.8	▲8.6	▲11.0	+8.5	+9.4	+5.3	+0.5	+3.6
	ナスダック	1849.42	▲27.5	+5.4	+4.2	+2.7	▲6.4	▲6.7	+10.9	+12.3	+3.3	+0.7	+4.9
	フィデリティ半導体	270.74	▲35.2	+0.8	▲0.2	+1.9	+3.1	▲4.4	+16.0	+12.0	+4.9	+3.4	+8.3
イギリス	FT100	4438.56	▲26.0	+2.3	+0.5	+3.4	▲6.4	▲7.7	+2.5	+8.1	+4.1	+0.4	+1.2
ドイツ	DAX	5077.03	▲26.9	+4.6	+2.8	+3.0	▲9.8	▲11.4	+6.3	+16.8	+3.6	+3.8	+0.4
欧州	ダウ欧州50	2146.35	▲31.2	+3.9	+1.0	▲4.3	▲4.0	▲10.7	+2.6	+11.6	+4.8	+1.9	+1.5
スウェーデン	ストックホルムOMX	770.48	▲21.5	▲1.6	▲0.8	+3.2	▲6.8	+3.7	+2.0	+17.0	+1.7	+0.6	+0.9
ポーランド	ワルシャワWIG	31399.03	▲31.9	+5.4	+7.1	+0.4	▲9.3	▲12.1	+10.8	+20.7	+1.0	▲0.1	▲0.3
ロシア	R T	1149.95	▲51.1	+31.9	+5.7	▲4.0	▲15.3	+1.8	+26.6	+20.8	+30.6	+8.2	+7.3
メキシコ	ボルサ	24913.01	▲21.5	+6.3	+2.4	+9.0	▲12.6	▲9.3	+10.6	+11.6	+11.1	+3.2	+1.0
ブラジル	ボベスバ	53341.01	▲25.1	+5.3	+0.3	+2.6	+4.7	▲2.8	+7.2	+15.5	+12.5	+3.2	+5.2
アルゼンチン	メルバル	1638.10	▲25.2	+20.2	+3.2	+8.6	▲0.2	▲5.4	+10.5	+13.3	+24.5	+8.6	+1.6
NZ	ニュージーランドSX50	2834.51	▲20.3	+0.5	+2.5	+0.2	+2.2	▲9.1	+2.7	+5.8	+0.9	▲1.1	+0.1
オーストラリア	AS200	3971.20	▲28.2	+2.1	+4.0	▲0.5	▲4.9	▲5.5	+7.1	+5.5	+1.0	▲0.3	+1.5
香港	ハンセン	18679.53	▲23.0	+13.7	+2.8	+3.6	▲7.7	▲3.5	+6.0	+14.3	+17.1	+1.6	+6.5
韓国	総合	1394.71	▲23.9	▲0.2	▲0.1	+4.5	+3.3	▲8.5	+13.5	+13.5	+1.9	+0.9	▲0.6
台湾	加権	6856.74	▲21.5	+7.5	▲0.5	+2.9	▲7.5	+7.3	+14.3	+15.0	+15.0	+3.8	+2.3
シンガポール	S T	2396.35	▲23.8	+15.5	+2.9	+1.7	▲0.9	▲8.7	+6.6	+13.0	+21.3	+4.9	+3.7
タイ	S E T	604.57	▲25.3	+19.4	+7.9	+12.0	▲2.7	▲1.4	▲0.0	+13.9	+14.0	+3.8	+1.2
インド	MンバISENSEX30	15103.55	▲4.2	+24.5	+3.3	+6.1	▲2.3	▲5.7	+9.2	+17.5	+28.3	+14.1	+5.3
中国	上海総合	2753.89	▲17.8	+7.3	+4.6	▲2.0	+8.6	+4.6	+13.9	+4.4	+6.3	▲1.8	+1.4
サウジアラビア	サウジ証券株価	5984.56	▲38.1	+3.2	+3.4	+1.4	+0.1	▲5.5	+3.6	+19.6	+2.9	+0.1	▲4.3
クウェート	クウェート総合	8370.5	▲45.0	+8.7	+4.4	▲12.3	▲13.1	▲4.7	+4.7	+12.0	+6.1	+3.0	+2.0
UAE	ドバイ金融市場	2025.55	▲65.2	+24.0	+13.0	▲16.7	▲7.1	+2.5	+0.6	+2.4	+11.6	+6.1	+3.3

(注)「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前＝4週間前の週間変化率、6カ月前＝6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	98.65	+6.9	+0.2	▲3.5	+5.1	+0.8	▲8.6	▲1.4	+0.4	+3.3	+0.4	▲0.6
ユーロ	1.3968	▲10.4	+4.8	▲1.4	+10.1	▲8.3	▲1.1	+4.6	▲0.2	+7.0	+3.7	+1.2
イギリスポンド	1.5981	▲18.4	+5.9	▲1.3	▲4.8	▲0.6	▲1.5	+0.0	+3.3	+9.5	+5.0	+1.6
スイスフラン	1.0856	▲4.6	+4.1	▲1.8	+11.9	▲8.5	▲0.8	+2.6	▲0.1	+6.5	+3.2	+1.7
スウェーデンクローナ	7.7969	▲30.4	+1.9	▲3.4	+3.3	▲6.6	▲8.0	+8.5	+2.4	+6.3	+5.8	▲1.2
ポーランドズロチ	3.2485	▲49.7	+0.9	▲1.9	+0.8	▲17.6	▲5.3	+4.5	+4.4	+4.7	+5.4	▲1.3
ロシアルーブル	30.944	▲30.7	+5.8	+0.3	▲9.4	▲17.1	▲0.4	+5.5	+2.5	+6.3	+3.4	+0.1
カナダドル	1.1192	▲10.0	+4.8	▲2.6	+1.6	▲0.7	▲3.8	+1.2	+5.4	+8.5	+4.9	+2.5
メキシコペソ	13.298	▲29.2	▲0.4	▲1.1	▲1.8	▲4.7	▲6.3	+7.0	+2.3	+5.0	+0.5	+0.3
ブラジルリアル	1.961	▲20.6	+8.1	+0.6	+0.6	▲0.2	▲3.1	+2.8	+5.7	+9.9	+4.1	+2.6
アルゼンチンペソ	3.748	▲22.3	▲1.3	▲0.3	▲2.4	▲0.9	▲2.2	▲4.2	▲0.1	▲0.6	▲0.2	▲0.0
NZドル	0.626	▲18.4	+7.9	▲2.1	+5.5	▲12.1	▲1.6	+11.7	+1.0	+13.3	+5.9	+3.2
オーストラリアドル	0.7933	▲17.3	+6.8	▲1.0	+7.5	▲9.5	+0.2	+8.2	+4.9	+10.4	+4.5	+2.4
韓国ウォン	1250.25	▲22.1	+1.2	+0.4	+14.3	▲10.6	▲10.1	+10.8	+5.6	+2.8	+1.7	▲1.0
台湾ドル	32.590	▲7.3	+1.6	+0.1	+1.5	▲2.9	▲3.6	+3.1	+2.3	+1.5	+0.8	+0.1
シンガポールドル	1.4567	▲6.7	+1.1	▲0.9	+5.3	▲5.4	▲2.4	+1.6	+2.7	+2.5	+2.1	▲0.2
タイバーツ	34.22	▲3.9	+2.6	+0.3	+2.2	▲0.8	▲3.4	+1.9	+0.6	+2.7	+0.7	+0.0
インドネシアルピア	9940	▲6.9	+4.5	+3.9	+7.6	▲4.4	▲1.4	+2.4	+8.8	+3.0	+2.4	▲1.4
インドルピー	47.11	▲9.6	+4.4	+0.0	+2.8	▲0.6	▲4.4	+0.8	+1.4	+5.8	+4.6	▲0.0
中国人民幣	6.833	+1.6	▲0.19	▲0.04	+0.14	▲0.14	▲0.07	+0.09	+0.16	▲0.10	+0.04	▲0.10

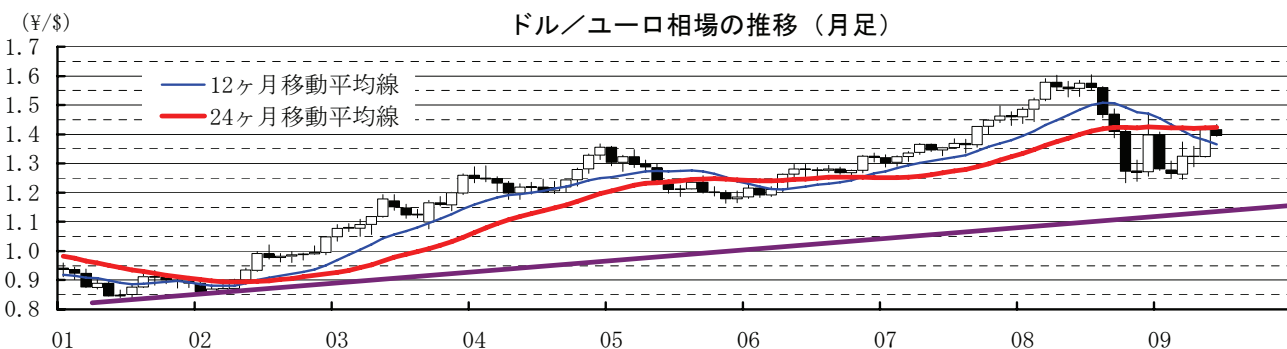
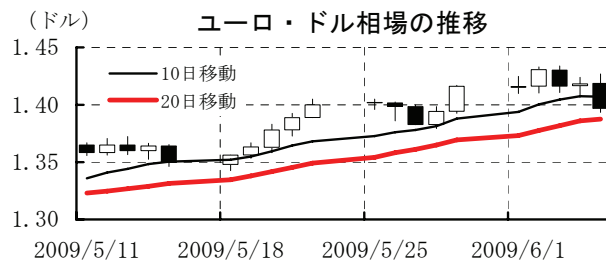
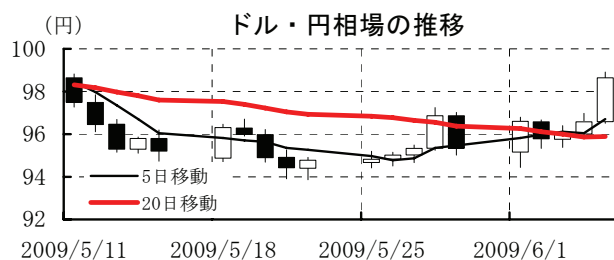
(注) 為替レートは全て対ドル建て。ただし、ユーロ、ポンド、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。

「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間＝4週間前の週間変化率、6カ月前＝6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

〔商品〕

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
WT I	68.44	▲46.4	+27.1	+3.2	▲18.1	▲6.5	+7.4	+10.9	+2.9	+29.7	+9.5	+7.5
北海ブレント	68.34	▲46.4	+26.3	+4.3	▲14.8	+0.6	+1.0	+4.9	+4.5	+29.0	+8.6	+7.8
ドバイ	68.62	▲41.4	+28.3	+7.1	▲25.4	+21.2	▲0.8	+6.3	+5.4	+28.5	+3.9	+6.8
OPECバスケット	67.01	▲43.5	+27.1	+5.2	▲26.5	+21.2	+3.0	+7.7	+8.0	+26.5	+4.2	+8.4
金 (NY)	961.7	+10.3	+6.3	▲1.7	+8.3	+4.9	+1.6	▲2.1	▲3.4	+9.8	+3.0	+2.1
銅 (LDN)	4,980	▲36.3	+9.9	+3.1	▲15.2	+2.8	+9.3	+17.1	+9.7	+9.0	+3.6	+4.8
アルミ (LDN)	1,572	▲45.8	+1.8	+9.2	▲13.1	▲12.4	▲0.5	+3.7	+7.3	▲3.6	▲5.3	▲0.1
鉛 (LDN)	1,675	▲13.4	+19.2	+6.7	▲9.4	+12.2	▲6.6	+21.4	+4.7	+18.0	▲2.9	+9.1
亜鉛 (LDN)	1,565	▲19.9	+2.3	▲0.1	▲0.2	▲9.2	+2.9	+17.0	+8.0	+10.0	+1.5	+3.3
ニッケル (LDN)	14,600	▲36.0	+21.7	+4.7	+14.7	▲4.3	▲10.7	▲1.5	+18.6	+19.4	+2.7	+9.0
スズ (LDN)	14,775	▲32.2	+18.2	+3.3	▲13.0	+0.9	+1.2	▲4.8	+18.8	+15.8	▲0.2	+4.8
銀 (NY、現物)	15.28	▲10.8	+14.6	▲2.9	+10.6	+11.2	+3.6	▲1.1	▲4.6	+27.2	+4.9	+7.2
プラチナ (NY、現物)	1,267	▲36.9	+11.6	+6.2	+6.0	+5.7	+8.7	+5.1	▲1.9	+7.7	+4.6	+3.2
小麦 (シカゴ)	623.00	▲20.7	+15.1	▲2.2	+12.6	▲7.0	▲10.1	+4.4	▲1.6	+21.6	+6.1	+4.0
大豆 (シカゴ)	396.00	+6.0	+8.0	+3.5	+17.4	+3.5	▲11.3	+7.1	+16.0	+11.7	+4.7	+2.0
コーン (シカゴ)	444.00	▲31.0	+11.4	+1.8	+16.5	▲6.9	▲7.5	+15.4	▲2.2	+10.2	+3.1	+1.4
CRB	257.92	▲39.5	+11.2	+1.9	▲5.2	▲4.0	▲4.0	+4.2	+0.9	+13.8	+3.3	+3.7
JOC	80.45	▲38.6	+9.7	+2.3	▲5.3	+4.8	▲1.9	▲0.8	+7.1	+9.5	+0.9	+0.6
日経商品指数 (17種)	113.98	▲34.2	+2.3	+1.1	▲12.5	▲1.8	▲0.7	+1.2	+2.7	+0.9	▲0.2	+0.9
日経商品指数 (国際)	143.00	▲30.5	+20.6	+2.1	▲9.4	+14.7	▲3.8	+7.4	+2.6	+18.2	+2.6	+5.2

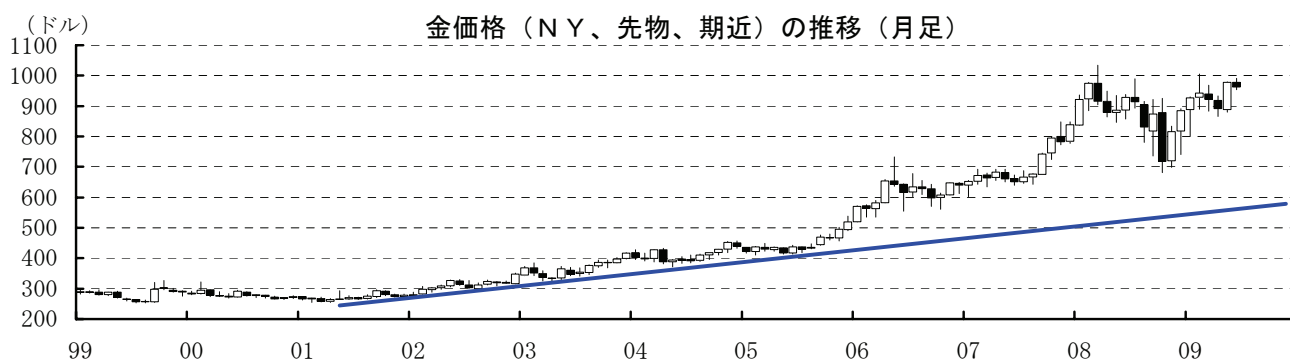
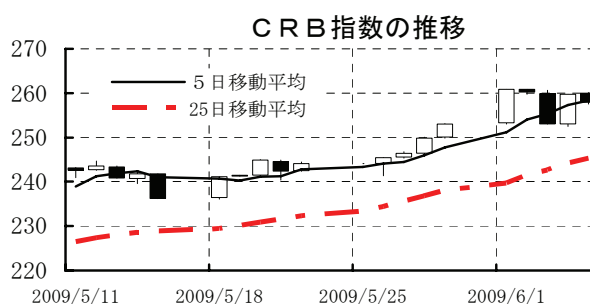
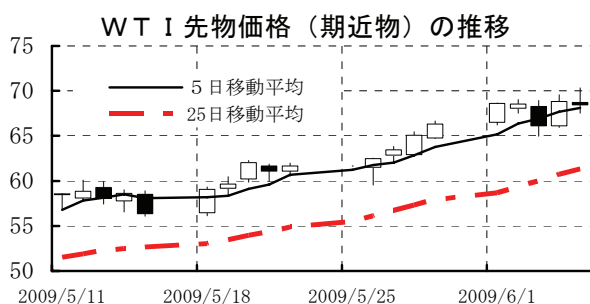
(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率 (例: 4週間=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率) を示す。

直近値以外の単位は%。

OPECバスケット、日経商品指数 (国際) は木曜日、日経商品指数 (17種) は水曜日の値。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい (下落率の低い) 商品、太斜字は最も下落率の大きい (上昇率の低い) 商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。